



ブラッシング指導



9月26日(木)に高等部。10月24日(木)に中学部。11月7日(木)に小学部で、学校歯科医の田原先生によるブラッシング指導が行われました。

適切な仕上げ磨きのやり方を、教えて頂きました。



小学部1年生は親子でブラッシング指導を受けました。

歯ブラシの状態から、使い方をアドバイスして頂きました。



○田原先生からのワンポイントアドバイス

- 口の大きさにあった歯ブラシを使いましょう。
- 歯ブラシは山切りカットより、平らで柔らかめが良いでしょう。
- 前歯の磨き残しが多いので、前歯から磨くのも良いでしょう。
- 歯ブラシを噛んでしまう場合は、仕上げ磨き用に、もう一本別に歯ブラシを用意すると良いでしょう。



専門研修会

夏休み中の8月22日（木）に学校歯科医の田原先生を講師にお招きし、教職員を対象に研修会を行いました。

口腔内ケアの大切さとその実際について、貴重なお話をお聞きすることができました。



スポンジ歯ブラシ、吸引式歯ブラシなど、ケア用品の紹介もして頂きました。



- 口には、「食べる」「話す」「呼吸する」「表情を作る」「味わう」など沢山の機能がある。
- 口の中を清潔に保つことは、誤嚥性肺炎の予防につながるなど、すべての児童生徒の健康にとって大切なことである。
- 口腔内を適切にケアすることが、口腔機能の維持・発達につながり、摂食嚥下機能の向上にもつながる。
- 唇や頬に触れた時に力が入ったり嫌がったりする場合は、「脱感作」という方法で過敏性を除去することが必要。
など沢山の事を学ぶことができました。



【一人一人に合ったケアで、健口から健康へ】